

消防の最前線から

消防士・救急救命士の想いとメッセージ

日々、まちと人を守るために働く消防士・救急救命士たち。広報・啓発活動に込めた、彼らが伝えた想いを聞きました。



橋本消防署 2 班
救急係長 消防司令補
救急救命士
おおや みちひろ
大家 道弘

もし身近な人が命の危機に瀕したら…
迷わず応急手当にトライして

救急救命士として現場に出る中で、市民の皆さんの理解や信頼を得るために広報や啓発活動が重要だと感じ、消防署内に「広



橋本消防署 2 班
警防係長 消防士長
まえだ れいじ
前田 玲次

火災で逃げ遅れないために、
常に「もしも」を想定した行動を

消防の仕事は「人」と直結しています。市民の皆さんとの関わりの中で笑顔が見られたりしたときには、やりがいを感じますね。だ



橋本消防署 1 班
消防士
ふじた りゅうき
藤田 隆希

市民の皆さんに幸せでいてほしい
そのためには、予防の大切さを知って

小学生のときに東日本大震災の被害状況をニュースで見てこの仕事を志し、入庁して2年目になります。市民の皆さんに信頼される



和歌山県防災航空隊
(出向)
技師
なかたに かずき
中谷 和紀

事故や災害…いざという時のため
日ごろの備えをしっかりと

今年4月から、白浜町に基地を置く和歌山県防災航空隊に出向中です。防災ヘリに乗り、水難事故や山で遭難した人の救助、大



市民の皆さんには、もし身近な人が命の危機に瀕したら、迷わず応急手当にトライしていただきたいです。「こうすればよかった」と後悔してほしくない。そんな想いで、日々の情報発信にも取り組んでいます。



火災から命を守るため、火災警報器の設置や予防はもちろん、火災が起きたら、逃げ遅れないことが重要。外出・宿泊先でも避難経路や消火器の位置を確認するなど、常に「もしも」を想定した行動を心がけていただきます。



私は市内出身ではないのですが、業務で市民の皆さんと交流させていただくたびに温かさを感じ、皆さんに幸せでいてほしいなと感じます。そのために、火災などを「未然に防ぐこと」の大切さを広報や啓発活動を通してお伝えしたい。もちろん、イベントなどを通して、子どもたちにも興味を持ってもらいたいですね。



橋本消防での広報活動の中で印象深いのが、自分が出演した動画（各現場の服装紹介）がバズったこと。「オレンジの人ですか？」と街中で声をかけていただくこともあり、SNSの影響力の大きさに驚きました。事故や災害は起こらないのが一番ですが、そうもいきません。いざという時のため、ぜひ日ごろから備えてください。

まちを、人を守る。熱い想いをもって日ごろから研鑽に励み、出動に備える姿がそこにあります。